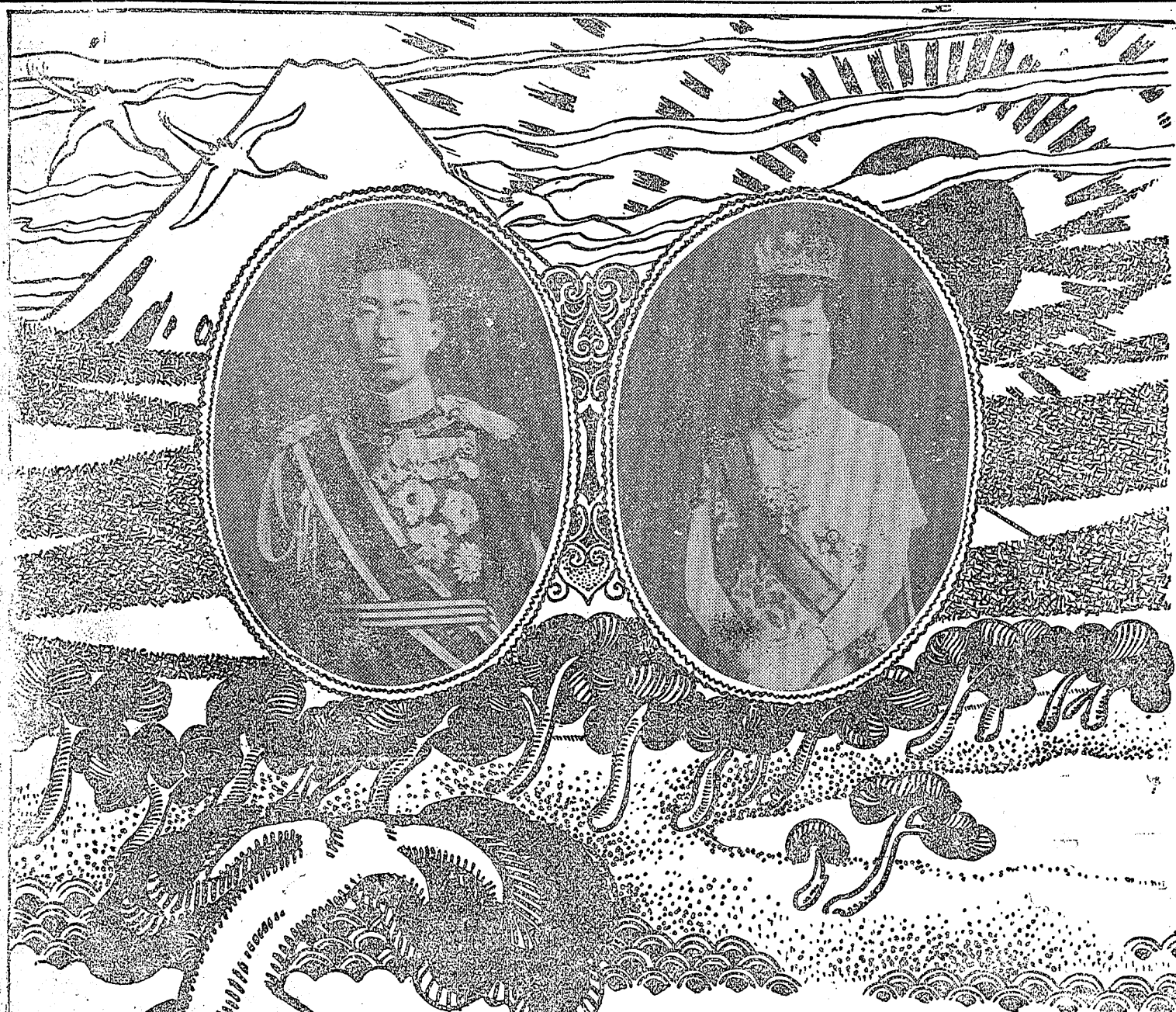


日一月一

# 常磐每日新聞

刊日

定額 一紙五錢 一ヶ月五拾錢 郵費五拾錢  
 廣告料 五號十二字 第一行 金五拾錢  
 日曜 祭日の 翌日 休刊  
 送行 郵便 輸入 印刷 人 川崎 文治  
 編輯 所 常磐 毎日新聞 社  
 印刷 所 常磐 毎日新聞 株式 會社



## 年頭言

年頭先づ、我が皇室の御繁榮を慶祝し奉り、我が皇運の彌榮えんことを愛讀者各位と共に、祈念するものであります。

殊に、畏くも東久邇第二師團長宮殿下平町に御台臨遊ばされし折柄、國民等しく待望申上ること久しかつた皇長子御降誕の吉報を承りて、旬日ならざるに、昭和甲戌初頭の瑞光は、社頭の雪に榮え、乾坤茲に新たにして、人心自ら蘇る第一日を迎へましたことは、我々國民に取つて、實に何たる歡喜、何たる祝福でありませうか。

吾々は、天意天恵の、我が皇室の上に如何に厚きかを、千萬無量の純情誠意を以つて拜謝すると共に『非常時』の語を以つて稱せられる、多難なる時勢に處し、奮起邁進、能く之を克服せしめずんばやまずとの勇猛心のひとりてに胸中に湧然たるを感ぜしめらるゝのであります。

來復の陽氣、天地に漲り溢るゝ年頭に當り萬物生成の坤徳を頌え、謹んで皇運の御隆昌を慶賀し奉り、併せて昭和九年が、愛讀者諸君の上に光り輝かんことを庶幾してやみませぬ。

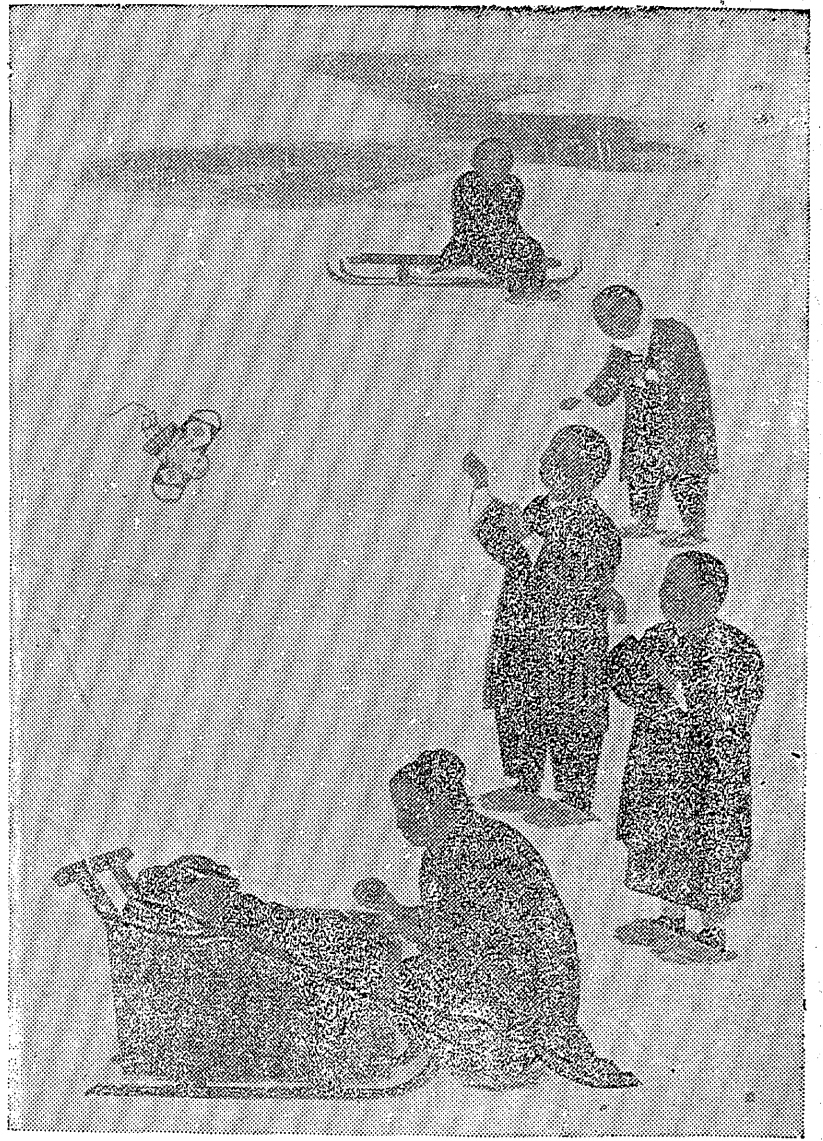
昭和九年一月一日

常磐毎日新聞社

同人



月◇正◇の◇國◇雪



に直面する此秋に際し國民は一大覺悟と確固たる信念とを以て恒に聯盟離脱に關する大詔の聖旨を奉戴し舉國一致以てこの非常時局に處せねばならぬ

一大覺悟と

確乎たる信念

大詔の聖旨を奉戴して 舉國一致時局に處さん

青沼町長語る

今や我帝國は聯盟離脱と北支停戰協定の成立を一段落として爾來東亞は滿洲問題の少康時代に入り國內は經濟難局を打開すべくインフレーション政策、自力更生運動等々々

財界に 刺戟を與へ又

軍需品工業が地方的に繁榮の波を打ち國民一致の奮闘により更生の實績を擧げつゝある、而かも深刻なる農村の疲弊は持越米の多量と

完成後

縣費支辨に編入せられ更に國道長橋町より五町目に至る街路側溝工事には着々進行し町道路の匡救改修工事亦豫定の如く進捗しつゝあり更に又町勢の發展により就學兒童の漸増に伴ひ曩に第三小學校を建設したるも尙狹隘

建設したるも尙狹隘

幾分の 保護を見たる

も一方生絲の慘落は製絲業者と農民の窮乏を加速度ならしめ中小商工業も亦た依然として不振の域を脱せざる状態であり、翻て本町自治の實績を顧みるに財界の不況に處し克く協力一致の實を擧げ健全なる町勢の發展刷新に努め時局匡救事業たる新川改修工事

下水道

の計劃又都市計画法に依る平町都市計劃の實現を期せんとし鋭意其準備を進めつゝあります。今や來るべき昭和十、十一年に涉る國家重大なる危機

平驛大活況

市況好轉が反影 俄然黒字に轉向

貨物の主もなる發着數

類百七噸 果實九二噸 噸 鐵類一六四噸 砂糠 清酒三五噸 一五七噸 セメント一三 (到着)石炭九七〇三噸 七噸 石材一一八〇 野 米四九五噸 木材三五五 菜一一六〇

年頭の訪れ

本年も激増

賀狀の洪水に

平局が大奮闘

平郵便局では賀狀洪水に對し既記の如く臨時雇廿五名を増して整理に大奮闘の活動を續け連日夜半迄慌しく奮闘中であつたが期間中の引受數は卅二萬九千九百四十三枚で昨年の卅萬六千二百六十八噸(實金一萬九百十圓五十九錢)の激増を來して居り同到着數は九萬四千六百四十七噸で前年の八萬八千四百八十七噸より六千七百噸の激増である、要するに一二年間悩み續けた平驛の赤字難を黒字に轉向せしめた事は市況の好轉を物語るもので同驛は近年に稀らしい多忙を呈した由因に同驛去月の中的主要貨物の發送到着數は左の如くである (發送)木材二四五噸 鐵

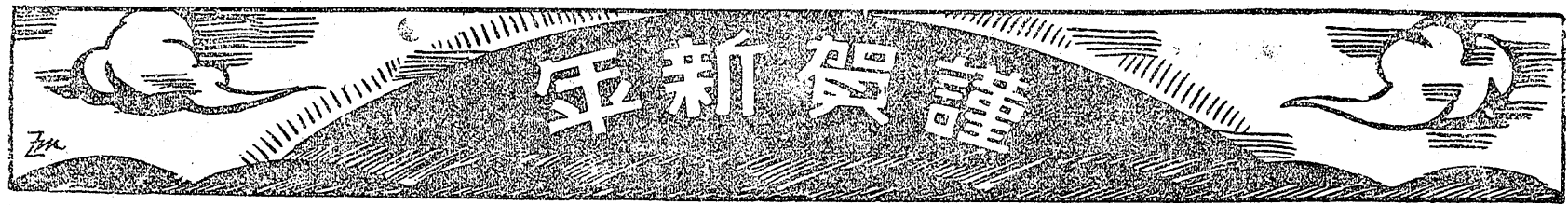
農家の懐も

存外に温かい

金融狀況は圓滿

石城郡下各農村の歲末に於ける金融狀況を見るに案外圓滑に終始した模様である即ち米價は米穀統制法に依つて前年に比し約三割高を現し又副業方面も非常な好成绩で米價は暴落しても藪の販賣時期に於いて、前年二圓前後に對し五圓前後の高値であつた爲め農村の懐具合は相當に潤澤であり又一面に於ては政府の農村匡救事業等の爲めに農村に落ちて居る金は相當多額であつて各郵便局の貯金引出しが例年に比し著しく減つて居る





# 新年 カンカン大喜

## 滑稽語呂合

滑稽語呂合  
天知る地知るーペン  
ニル能る。  
寝るに寝なしー寝  
びに寝なし。  
◇ 寝るに寝ありー寝に  
◇ 寝るに寝ありー寝に  
◇ 寝るに寝ありー寝に  
◇ 寝るに寝ありー寝に

## 狂歌の春

狂歌の春  
うの毛に付いたる櫻のき  
つもなき君が八千代の玉の  
髪かな  
光陰の矢速に消えぬ身とな  
る竹にはつるをはるの淡雲  
舞風に山吹々と笑うてか土  
の多きほどに寝る白鷺  
大晦日久し振りに我が家  
金ざるなり百八つの鶴  
わが宿のいと古びたる女房  
も新しく身は今朝のつる  
願はくば厚敷に酔ひたる此  
心地今年一年持ちたまふ心  
侍に大に驚き身もへして  
侍「イヤ、親の顔などとは  
解えなし、人違ひして過ち  
すな」  
乞食腰をかまめて  
「イヤつくりが直りました  
でせう、一文取らせて下さ  
いませ」(落)

## 落語



泥棒除け  
暖家の門口に泥棒、泥棒  
押入所といふ大きな音が  
ブラ下つて居ります。町内  
の若者が集つて、「オイ  
あすこに泥棒が来たぞ、  
俺も泥棒を習ひに行かうと  
思ふ、お前も行かねえか」  
と云つた。

## 笑ひのエッセンス

笑ひのエッセンス  
◆ 忘れ物  
「赤福さん、私の荷物はず  
つかり抜き込んでくれたら  
らね」  
「ハイ」  
「イヤ、もう忘れ物は  
「何、前と違ひはないよ  
だ」



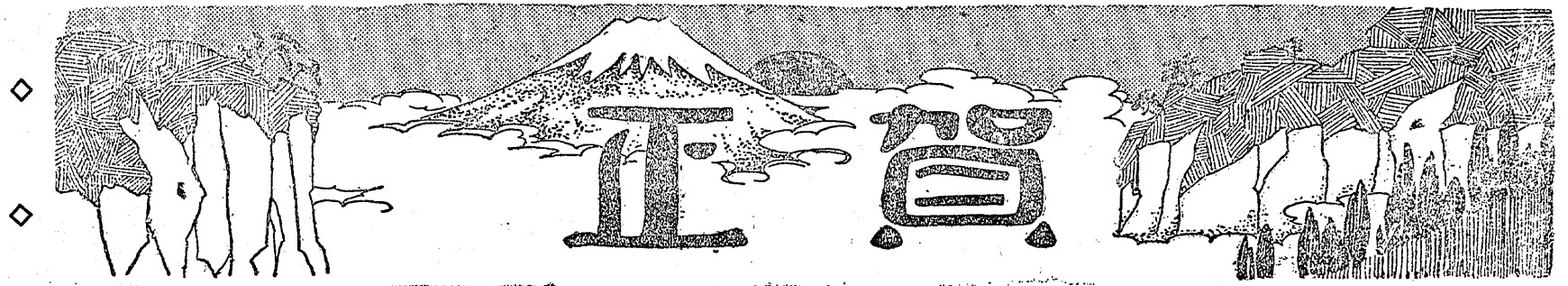
- |                                   |                                   |                                      |                                    |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <b>星眼科醫院</b><br>星 恒 明<br>電話四七一七番  | <b>大森 醫院</b><br>大 森 勇<br>電話二五八番   | <b>大和田耳鼻科醫院</b><br>大和田 郡 司<br>電話一八〇番 | <b>金成 醫院</b><br>金 成 忠 義<br>電話三五七番  | <b>吉田眼科醫院</b><br>吉 田 安 雄<br>電話六八番 |
| <b>矢吹 醫院</b><br>矢 吹 大 輔<br>電話二六六番 | <b>松村 醫院</b><br>松 村 鐵 郎<br>電話一〇七番 | <b>藤沼 醫院</b><br>藤 沼 平 次 郎<br>電話五〇七番  | <b>酒井 醫院</b><br>酒 井 國 三 郎<br>電話五五番 | <b>鈴木眼科醫院</b><br>鈴 木 亮<br>電話四三八番  |

## 常磐毎日印刷株式會社

取締役 佐々木龍若  
社 長 川崎文治  
取締役 志賀盛榮  
監査役 門傳清吾  
監査役 原 精 一  
相談役 山崎清三  
相談役 阿部政右衛門

<b>磐城共濟病院</b> 院長 電話六四一 電 石 山 謙 自 宅 話 二 四 番	<b>市原 醫院</b> 市 原 卯 太 郎 平町田町電話一四四番	<b>井坂 醫院</b> 井 坂 久 吉 平町田町電話五九番	<b>原 齒科 醫院</b> 原 精 三 平町七橋電話三一三番	<b>渡部 外科</b> 渡 部 義 夫 平町田町大通電話二七七番	<b>渡邊 醫院</b> 渡 邊 義 久 平町鼠坂電話一六一番	<b>上田 外科</b> 上 田 耕 作 平町南町電話二二九番	<b>耳鼻科 山内 醫院</b> 山 内 亨 吉 平町田町七〇電話六九一	<b>増田 醫院</b> 増 田 義 之 平町南町電話四八二番	<b>木村 外科 醫院</b> 木 村 淳 平町六丁目電話三〇九番	<b>諸橋 外科 醫院</b> 諸 橋 鐵 彌 平町新川町電話四六四番	<b>平看 護婦會</b> 會長 清野 三 平南町電話三〇七番
---	---	--------------------------------------	---------------------------------------	---	---------------------------------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---	---	---------------------------------------





鹽屋  
**山崎合名會社**

**釜屋商店**

日本石油株式會社特約店  
**關内油店**

銅鐵商  
**山田文一商店**

**大一屋商店**

**平運輸株式會社**

磐城建物株式會社  
取締役 **井上貞治郎**

**福島貯蓄銀行平支店**

最優最大日本生命保險平代理店  
**志賀盛榮**

高級玩具  
各種寫真機  
樂器 造花  
**いづみや玩具店**

**旭屋一六銀行**

**小野伊佐治商店**

御旅館  
**住吉屋本店**

割烹  
**末廣**

御料理鳥  
**石川亭**

割烹と  
**さあ**

御料理  
**八千代**

御料理  
**君乃家**

新古賣買  
**山田麻袋商店**

**佐藤三平**

砂利、砂、販賣  
神谷組 **神谷兼治郎**

一般貨物運搬營業  
**金成國雅**

郷社愛宕花園神社  
社司 **吉田壽義**

時計と眼鏡  
**星野時計店**

牛肉商  
**三二三屋**

常陸セメント海岸線特約店  
**住吉屋**

酒井伴城  
**大塚**

製靴部  
**サクラ寫真館**

諸橋嘉吉  
**吉伴鐵工場**

閑靜家族的  
旅館 **會津館**

館主 金澤清  
**青木寫真館**

平南町公會堂前  
**平館**

活動常設  
**岡山寫真館**

平南町川岸通  
電話六一五番

海産物商  
**市原商店**

平町一丁目  
電話二四四番

**丸屋タビ洋品店**

三九二  
**タクシ**

平町二丁目  
**西村屋藥舖**

平町三丁目 電話三五九番  
**丸ほん家具店**

平町新田町 電話一八二番  
**丸ほん家具製作所**

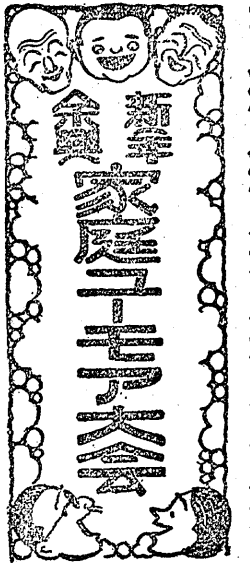
銘酒  
**由良の助**

平町田町 電二〇七  
**小谷製袋店**

平町五丁目  
**金光堂時計店**

印伴天專業  
**草野染工場**

平鎌田町電三四八番



口上

皆さま、明けましておめでとう... (New Year greeting text)

小咄

至極尤も... (Humorous anecdote text)



「それは牛を盗んだ...」 (Humorous dialogue text)

賀

本紙を以て賀状に代へ、廻禮を御遠慮申上候

常警毎日新聞社

社長 川崎文治

【五十音順】

- 大 金 勝 川 片
林 成 村 崎 寄
俊 定 榮 徳 子
吉 雄 一 夫
坂 松 根 橋
本 本 本
忠 敏 己
治 利 己
涉

漫歌

呼んだのは... (Humorous poem text)

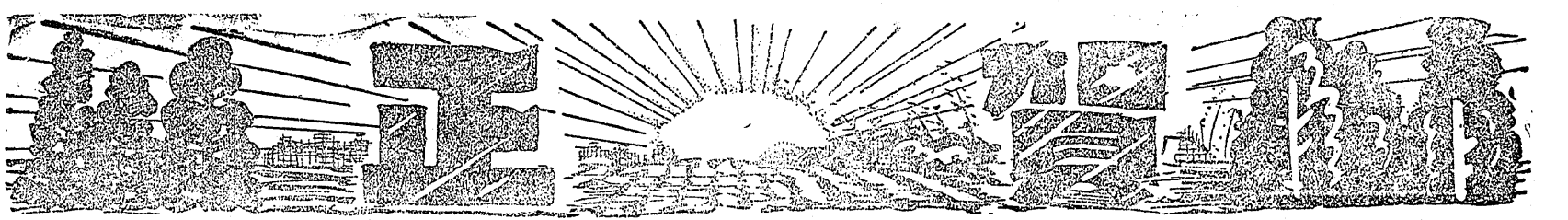
早口早言葉

さあ持さん... (Fast speech text)

滑稽詩



おや、縮た... (Humorous poem text)



平消防組 幹部一同

- 組頭 井上茂作
副組頭 柏原幸次郎
會計部長 堀江正茂
庶務部長 鈴木長三郎
第一部長 關内正一
第二部長 岡田政次郎
第三部長 鈴木彌太郎
頭 三井富吉
酒井清
高根澤長太郎
佐川三良
涌井兼作
根本幸次郎
田中定行
阿部治作
草野喜一
金成泉一郎
織田萬次郎
菊田萬吉
片寄敬太郎
阿部章

磐城炭鑛株式會社
所長 菅原萬治郎

入山探炭株式會社
所長 吉田宗雄

小田炭鑛株式會社
社長 萩原申八

古河炭好間鑛業所
所長 下野十朗

片倉製絲株式會社
所長 山本薰

株式會社福島モーター商會
平出張所
平町三丁目電話一八七番

東部電力株式會社
平營業所

大日本モリス興業株式會社
福島縣營業所
平町材木町四一

常警モリス
商工助成株式會社
平十五丁目 電話四六番

平庶民金庫
電話四九三番

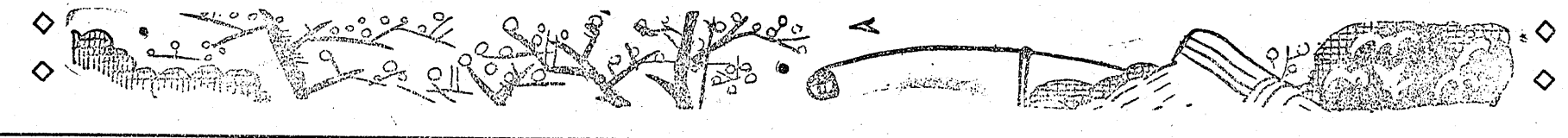
漆器家具 和久井屋
平町一丁目
電話四〇五番

藤寅カマポコ店
平町一丁目
電話一四一四番

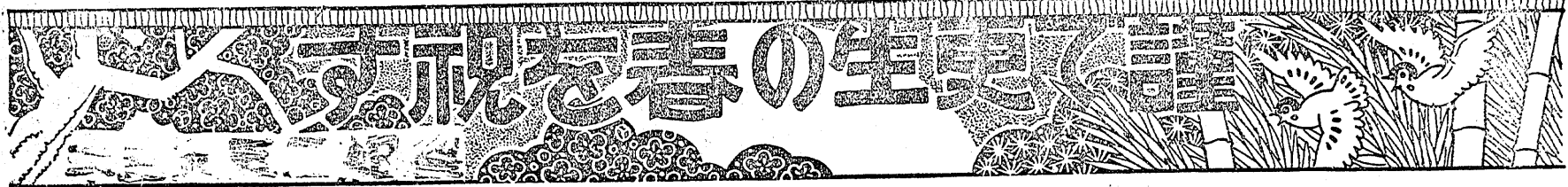
松本屋商店
平町四丁目
電話二一四番

中野洋品店
平町二丁目
電話五三番

合資會社 製菓問屋







福島縣 町村長會 石城支會

平町會議員

研究會一同

福島縣 石城郡 學校長會

平商友會

顧問 矢野泰次郎  
會長 菅本利光  
副會長 室橋

平商業 職員一同

土木建築 請負業 江口忠一

平町搔樋小路(電五一九)

最上醬油釀造元



小野園次郎

平町長橋町電話二五一番

銘酒白馬の雪釀造元

松本徳一

石城郡平窪村

久野ひさ

平町三丁目

濱三郡龍生會々長

華道 正木旭松

平町六丁目

華道家元、池坊生花、小原流盛花  
瓶華、遠州流茶の湯、賣茶流煎茶

教授 横山美聲

平南町(平館隣)

區長有志

第一區 川角兼吉

第二區 木澤常松

第五區 比佐信太郎

第十五區 赤塚勇吉

第十九區 佐藤榮吉

製菓問屋

吉村四郎

平研町 電話四〇六番

色川光以

平運送合資會社 平町宇田町通り

小野勝康

(舊名長吉) 本社 東京市丸之内(支店)仙臺市大町五丁目(自宅)平町南町

長橋町

福島健之

(寛利改)

大床號

石崎理髮舖

平田町 電話一八八番

湯本信用無

盡株式會社

湯本町 電話四七番

加藤自轉車店 平町長橋町

關内藥局 藥劑師 關内 榮助 福島縣平町四丁目 電話四〇番

阿部材木店 平町紺屋町 電話四九四番

芹澤タクシ

中島寫眞館 平田町 電話一九五番

鶴屋商店 平町四丁目 電話一四〇番

福壽軒 西洋料理 平田町 電話二八番

平搾乳所 平仲間町九品寺前 電話二六八番

關内精米所 平町長橋町 電話三八九番

海産物乾物商

仙臺屋商店 平町長橋町 電話五四八番

吉村綿店 平町研町 電話二五七番

阿部藥舖 平田町 (松月堂向)

田邊商店 平白銀町一四 電話二九四番

白萩酒店 平研町 電話四四三番

高橋時計店 平才樋小路

吉村商店 平町長橋町

山久團扇店 カレンダー ポスター 武田義亮 平紺屋町局前

カフェー 松ヶ岡 平町公園前

堀藥局 福島縣平町二丁目 處方調劑 一般藥品 醫療器械 藥劑師 堀功 電話三二六番

モリタヤ

洋品店 平五丁目 電話三五三番

坂本紙店 平町一丁目 電話一八八番

大黒屋洋品店 平町三丁目 電話一六六番

小松洋服店 平町搔樋小路十二番地 皇恩會洋服裁縫教習 電話呼出五八五番

星製藥

磐城配給所 平三 電話二九番

横山彰商店 平町三丁目 電話九四番

平古物商組合 組合長 武藤治郎三郎 副組合長 近藤繁治 小山貞吉 横田平藏 碓邊淺吉 渡邊貞吉 池田千松 鈴木儀十 仲村膳喜 降矢由春 鈴木次男 本明惣助 關根榮治 外會員一同

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第二百二十三回 此處に崇る妖刀

義理から謀叛に

傳右衛門が系圖を見終り

悉く喜ぶを見て

河「それにて満足ぢやかうして其方に逢ふといふも偏に亡父の引合せであらう」

傳「左様でございます。私はモウこんな嬉しい事はございませぬ」

河「ウム、私も誠に喜ばしい、ついでには傳右衛門父に代つて此の采女が其方に頼み度き一儀があるが何と聞いては呉れまいか」

傳「私の身に叶ひました事なれば、何なりとも……」

河「ウム聞いて呉れるか、ソリヤ忝ない」

と膝摺寄せて聲を密め

河「傳右衛門其一儀と申すはこれを見て呉れ」

と懐から取出したるは一卷の巻物、傳右衛門何氣なく開いて見て打驚き

傳「ヤ、これは連判状……」

河「シートツ静かにしやれ、頼みといふはこの連判に加盟して貰ひたい」

傳「何と仰しやいます」

河「却そも我家の祖先山城守は神君を怨んで數度の戦功も捨て、高野に入つて僧となり、其子左門より代々京家に仕へたる處父式部に

至り又復關東武士の爲めに討たれ、怨み重なる徳川氏の敵を探ねん爲め我先年出府いたして種々の苦心を重ねる内近頃長くも上天皇の御孝心より御實父院院宮一品親王に太上天皇の尊號を奉らんとお召召にて京都

と心を碎く一味の輩打集つて密に大望を謀り、時の來るを待つ、今更いふまでもなく幕府は朝廷の代官同様此の日本に住む者一人として朝廷の御恩を蒙らぬ者はない、其方もその分別あるに於いては町人と雖も武士と變りはない、一味同志に加はり呉れるやうなら、亡父式部の靈も定めて喜ぶであらう、頼みといふのは此の事である」

傳右衛門打驚き

傳「それは采女様失禮ながら御了簡違ひではございませぬか、如何にお心ばかり焦つても十一代打續く徳川



より關東へ申出されしを時の老中共様々に異議を唱へ兎角に御受けを怠り今以て何の沙汰もない、これ畢竟徳川氏あるを知つて朝廷あるを知らぬ東夷の暴逆悖亂斯くて追々増長せは果は京都の一大事にも相成るべし

家、日本中の大名が悉く歸服いたして居りますれば所詮思召は叶ひませぬ、申さば蝶蜂が斧を持つて龍車に向ふとやらで、由井の正雪ほどの者が企みに企んだ謀叛でも、事現はれて最後を遂げ、末代まで汚名を殊し

たが良い手本、どうぞ貴所様も御心を取直し、左様な事はフツツト思ひ止まり下さる様お願ひ申します」

河「コレ傳右衛門、我を以て正雪如き逆賊に比するこゝと以ての外ぢや、正雪は只徳川の天下を取つて代らんとする私慾のみ、豪も朝廷の御爲めを思はぬさればその事ならずして亡びしは天理である不肖なれども天方采女は彼等が如き者をならはず假令一命捨てるとも朝廷のために賊臣を討つ心の定めし其方は拙者を逆賊と疑ひ、一味加盟を承知いたさぬものと見える」

傳「イエどう致しまして決して左様な次第ではございませぬが、古から謀叛を企てた者で成就いたした例はございませぬ」

河「イヤ又しても謀叛といふが其方までに左程疑ひを受けるといふは天運末だ至らざるものと覺えたり最早是れまで、腹掻割いて我が潔白の贖罪を見せん」

といふより早く脇差の鞘を拂つて腹へ突き立てやうとするから、傳右衛門驚いて其手に絶り

傳「マア、お待ち下さいまし」

河「然らば疑ひ晴らして其方も朝廷に御味方いたすか

傳「サアそれは」

河「まだ疑ひ晴れぬかサア」

と詰めよせられて傳右衛門も詮方なく

傳「其の上は御連判に加はりませう」

河「オ、それにて拙者も安堵いたした、父式部も草葉の蔭で嘸喜ばれる事であらう」

と刀を鞘に納め

河「然らばこれへ血判いたせと連判の一卷を突きつけられて傳右衛門、神ならぬ身の欺かれるとは知る由もなく式部の伴采女と思ひ一旦受た恩義に酬いる心にて遂にそれへ名前を記し、血判して差し出せば、傳九郎仕すまじたりと巻き納め」

河「其の方一人の味方を得たるは百人の同志を得たるよりも心強し、忝なしと喜んで」

諸橋呉服店

平 新川町 電話五〇番

マルトモ書店

電話二三四番

マルトモ運動具店

電話五九七番

マルトモ食堂

電話二二三番

大勝園茶舗

平町三丁目 電話三九六番

宗像金物店

平町研町

石城銀行組合

石城鐵工同業組合

平町請負業組合

平材木商業組合

平町砂糖商組合

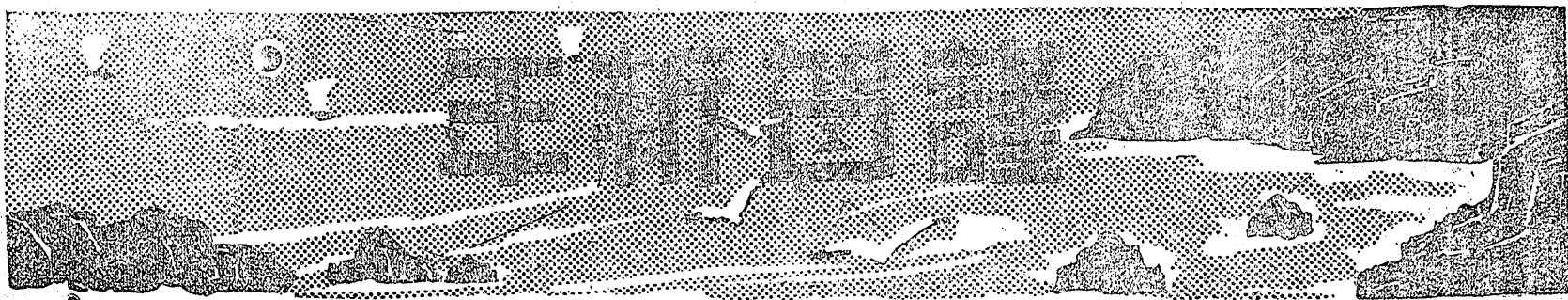
平藝妓屋組合

平料理屋組合

平旅館組合

平町西洋料理組合

平産業保健組合



前代議士 木村清治

安島重三郎

石城郡山田村

貴族院議員 金成通

衆議院議員 鈴木辰三郎

阿部政右衛門

平町播植小路 電話二三七番

平町長 青沼鋒太郎

植田町長 古川傳一

縣會議員 井上茂作

同 萩原義雄

山崎登

石城郡錦村

平土木監督所

所長 小林清吉

常務毎日印刷株式會社

監査役 門傳清吾

平町播植小路(電話二四)

高橋龜松

平町白銀町 電話六三八番

帝國火災保險株式會社  
有隣生命保險株式會社 代理店

佐々木龍若

平町二軒町 電話二四九八番

會川延太郎

平久保町 電話三六七番

松崎長太郎

平新川町(電話百〇五番)

吉田金作

平八幡小路

馬目武之助

平町新川町 電話五五八番

多田井笑次郎

平町大工町(電話五九一番)

小田吉次

榊田榮太郎

平町材木町 電話二四八番

山田忠太郎

平町三丁目 電話四五七番

赤堀信平

東京市瀧野川區瀧野川町六九二  
電話王子一三六三番

洋酒罐詰海產物商

關内半平

平町長橋町 電話一六〇番

衛生牛乳

岡田牛乳舎

平町鎌田町 電話五一番

鳥肉商 鳥菊

南町 電話二八六番

柏屋染物店

阿部傳六 平町材木町

小野屋藥店

平町四丁目 電話一四四番

なかや

洋服店

松崎ガラス

製作所

平新川町 電話一四二番

江戸前料理食堂

制烹 錦水

仕出し 電話四五四番

洋食・喫茶・宴會

コンパル

電話六六六番

三井質店

平四電話六〇六番

三井自動車部

平二電話六八五番

高級自轉車販賣

フタバ商會

平町新川町

伊勢屋

平四丁目 電話四五番

ライト寫眞館

平町大通り 電話五三五番

花友

八田與一 平白銀町 電話六九五番

袋屋果實店

平四電一一一

平銀座 黒猫

電話六七九番

大平屋藥店

平町一丁目 電話六四二番

イワキサロン

森川泰一郎 平町電三五二

時計とメガネ

山崎時計店

平町五丁目